



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月11日

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所 福
 コード番号 7441 URL <https://kk-misumi.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 恒憲
 問合せ先責任者 (役職名) サポート本部長兼経理部長 (氏名) 今田 和孝 (TEL) 099-260-2213
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第1四半期 | 13,192 | 19.1 | 39 | △86.7 | 153 | △62.6 | 95 | △65.4 |
| 2021年3月期第1四半期 | 11,076 | △21.0 | 300 | 28.6 | 411 | 23.2 | 274 | 22.0 |

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 212百万円(△49.2%) 2021年3月期第1四半期 417百万円(35.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期第1四半期 | 16.45 | — |
| 2021年3月期第1四半期 | 45.68 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2022年3月期第1四半期 | 34,972 | 17,520 | 49.3 |
| 2021年3月期 | 34,687 | 17,460 | 49.5 |

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 17,236百万円 2021年3月期 17,173百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | 20.00 | — | 25.00 | 45.00 |
| 2022年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2022年3月期(予想) | — | 20.00 | — | 20.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 25,848 | 11.3 | 291 | △48.0 | 466 | △40.2 | 294 | △38.8 | 49.61 |
| 通期 | 55,577 | 5.9 | 1,179 | △11.7 | 1,516 | △15.0 | 784 | 17.3 | 132.39 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2022年3月期1Q | 6,100,503株 | 2021年3月期 | 6,100,503株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期1Q | 316,269株 | 2021年3月期 | 312,569株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2022年3月期1Q | 5,785,575株 | 2021年3月期1Q | 6,015,547株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、緊急事態宣言の再発令やまん延防止等重点措置の適用に加え、供給量不足によるワクチン接種の遅れに伴い、個人消費や経済活動が大きく制限されるなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、店舗における基本的な新型コロナウイルス感染症予防策(マスク着用・アルコール消毒・三密回避)の徹底を継続するとともに、訪問による営業を自粛し、ダイレクトメールやチラシのポスティングをメインとした営業活動を行い、収益確保に努めました。

以上の結果、当社グループの主力事業であるエネルギー部門において、エネルギー関連商品の販売価格が上昇したことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は131億92百万円(前年同四半期比19.1%増)となりましたが、利益面では、石油関連商品の仕入価格上昇に見合う販売価格への転嫁が図れなかったことで、経常利益は1億53百万円(前年同四半期比62.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は95百万円(前年同四半期比65.4%減)となりました。なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等の適用により、売上高は5億89百万円減少し、営業利益、経常利益はそれぞれ11百万円増加しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1 エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、入札案件の情報を迅速に収集し、効率的な入札への参加を実施することで販売数量の増加を図りました。

ガス部門では、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響により、訪問による営業を自粛し、ダイレクトメールやチラシのポスティングをメインとした営業活動を行い、収益確保に努めました。

以上の結果、エネルギー関連商品の販売価格が上昇したことにより、売上高は98億26百万円(前年同四半期比26.2%増)となりましたが、利益面では、石油関連商品の仕入価格上昇に見合う販売価格への転嫁が図れなかったことで、セグメント利益(営業利益)は99百万円(前年同四半期比65.2%減)となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は5億81百万円減少し、営業利益は11百万円増加しております。

2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、次期話題作コミックの複数展開と在庫強化、文学賞関連作品や新刊の拡販を実施するとともに、アプリ会員の獲得を強化し、顧客の囲い込みを図りました。

オプシアミスミでは、飲食店への来客・売上対策として、テイクアウト商品のメニュー及び売り場のリニューアルを行い、収益確保に努めました。

以上の結果、売上高は19億12百万円(前年同四半期比3.3%増)、セグメント利益(営業利益)は45百万円(前年同四半期比29.0%増)となりました。なお、収益認識会計基準等の適用による影響額は軽微であります。

3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントの外食部門では、主力形態であるKFCにおいて、店舗のリニューアルを進めるとともに、ロス削減によるフードコスト管理を徹底し、利益改善に努めました。また、地方自治体による営業時間の時短要請に応じた店舗もありましたが、全体では引き続きKFCのテイクアウト需要が多く、実施したキャンペーンが好調だったこともあり、売上高は前年をやや上回りました。

以上の結果、売上高は14億53百万円(前年同四半期比1.0%増)となりましたが、売上の増加に伴う人件費の増加に加え、配達代行サービス導入に伴う手数料が増加したことから、セグメント利益(営業利益)は1億20百万円(前年同四半期比29.2%減)となりました。なお、収益認識会計基準等の適用による影響額は軽微であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べて2億84百万円増加し、349億72百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少する一方、現金及び預金が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度に比べて2億25百万円増加し、174億51百万円となりました。これは主に、未払法人税等が減少する一方、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べて59百万円増加し、175億20百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

収益認識会計基準等の適用により、利益剰余金の期首残高が6百万円増加したことにより純資産が増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2021年5月13日発表から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,458,192 | 5,137,742 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,670,287 | — |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | — | 4,221,430 |
| 商品及び製品 | 2,901,480 | 2,822,499 |
| 仕掛品 | 10,420 | 2,914 |
| 原材料及び貯蔵品 | 26,902 | 21,725 |
| その他 | 680,578 | 656,955 |
| 貸倒引当金 | △19,241 | △17,526 |
| 流動資産合計 | 12,728,621 | 12,845,741 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 4,016,071 | 3,989,533 |
| 土地 | 11,497,413 | 11,497,413 |
| その他（純額） | 1,398,226 | 1,403,262 |
| 有形固定資産合計 | 16,911,711 | 16,890,209 |
| 無形固定資産 | 388,872 | 377,386 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 4,828,500 | 5,029,383 |
| 貸倒引当金 | △170,230 | △170,270 |
| 投資その他の資産合計 | 4,658,269 | 4,859,113 |
| 固定資産合計 | 21,958,853 | 22,126,708 |
| 資産合計 | 34,687,474 | 34,972,450 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,321,749 | 2,085,590 |
| 短期借入金 | 4,485,000 | 4,580,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,663,418 | 2,808,192 |
| 未払法人税等 | 419,488 | 88,211 |
| 賞与引当金 | 310,670 | 479,146 |
| その他 | 1,683,939 | 1,401,065 |
| 流動負債合計 | 11,884,265 | 11,442,205 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,479,219 | 4,101,028 |
| 役員退職慰労引当金 | 732,530 | 730,030 |
| その他 | 1,130,758 | 1,178,524 |
| 固定負債合計 | 5,342,507 | 6,009,582 |
| 負債合計 | 17,226,772 | 17,451,788 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,690,899 | 1,690,899 |
| 資本剰余金 | 1,646,600 | 1,646,600 |
| 利益剰余金 | 13,506,877 | 13,463,595 |
| 自己株式 | △552,815 | △559,814 |
| 株主資本合計 | 16,291,562 | 16,241,281 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 806,821 | 925,556 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 74,650 | 69,806 |
| その他の包括利益累計額合計 | 881,471 | 995,362 |
| 非支配株主持分 | 287,667 | 284,018 |
| 純資産合計 | 17,460,701 | 17,520,662 |
| 負債純資産合計 | 34,687,474 | 34,972,450 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 11,076,942 | 13,192,451 |
| 売上原価 | 8,017,452 | 10,377,651 |
| 売上総利益 | 3,059,490 | 2,814,799 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,759,357 | 2,774,967 |
| 営業利益 | 300,132 | 39,832 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 703 | 623 |
| 受取配当金 | 23,832 | 25,845 |
| 受取賃貸料 | 36,763 | 38,786 |
| その他 | 76,209 | 75,239 |
| 営業外収益合計 | 137,508 | 140,495 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 12,824 | 12,375 |
| 賃貸費用 | 3,287 | 5,105 |
| 固定資産除却損 | 2,046 | 7,838 |
| その他 | 7,811 | 1,228 |
| 営業外費用合計 | 25,970 | 26,547 |
| 経常利益 | 411,670 | 153,780 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 89 | 709 |
| 特別利益合計 | 89 | 709 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 411,760 | 154,489 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 169,636 | 76,360 |
| 法人税等調整額 | △34,472 | △20,189 |
| 法人税等合計 | 135,163 | 56,170 |
| 四半期純利益 | 276,596 | 98,318 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 1,827 | 3,157 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 274,769 | 95,160 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 276,596 | 98,318 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 130,088 | 118,734 |
| 退職給付に係る調整額 | 11,285 | △4,906 |
| その他の包括利益合計 | 141,374 | 113,827 |
| 四半期包括利益 | 417,971 | 212,146 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 415,816 | 209,050 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 2,154 | 3,095 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結累計期間
(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これによる主な変更点は、エネルギー関係の収益につきましては、従来は、第三者のために回収する間接税を含めた総額で収益を認識しておりましたが、間接税を除いた金額で収益を認識することとしております。また、ガスの収益につきましては、従来は、検針日基準に基づき収益を認識しておりましたが、検針日以降から決算日までの期間に生じた収益を見積って会計期間に応じた収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は589,076千円減少し、売上原価は587,726千円減少し、販売費及び一般管理費も12,463千円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ11,113千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は6,256千円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|-------------|---------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | エネルギー | ライフ スタイル | フード& ビバレッジ | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,785,746 | 1,851,835 | 1,439,361 | 11,076,942 | — | 11,076,942 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 3,444 | 22,917 | — | 26,362 | △26,362 | — |
| 計 | 7,789,190 | 1,874,752 | 1,439,361 | 11,103,304 | △26,362 | 11,076,942 |
| セグメント利益 | 285,407 | 35,102 | 170,822 | 491,332 | △191,200 | 300,132 |

(注) 1 セグメント利益の調整額△191,200千円には、セグメント間取引消去972千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△192,173千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|-------------|---------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | エネルギー | ライフ スタイル | フード& ビバレッジ | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,826,522 | 1,912,462 | 1,453,466 | 13,192,451 | — | 13,192,451 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 4,700 | 24,544 | 11 | 29,255 | △29,255 | — |
| 計 | 9,831,222 | 1,937,006 | 1,453,477 | 13,221,707 | △29,255 | 13,192,451 |
| セグメント利益 | 99,206 | 45,267 | 120,873 | 265,346 | △225,514 | 39,832 |

(注) 1 セグメント利益の調整額△225,514千円には、セグメント間取引消去977千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△226,491千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「エネルギー」の売上高は581,856千円減少、セグメント利益は11,113千円増加しております。「ライフスタイル」及び「フード&ビバレッジ」への影響額は軽微であります。